

平成 30 度
学校関係者評価報告書 最終評価

大阪市立大桐中学校 学校協議会

1 総括についての評価（最終）

二つの最重要目標「子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現」の年度目標 7 項目に対して 4 項目で目標を達成することができた。また「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」では年度目標 8 項目に対して、目標を達成できたのは 1 項目のみであった。

昨年度と同様に、学校のルールを守ることに関しては、アンケート結果からも極めて高い規範意識が根付いており高く評価できる。しかし学力向上の面では、外部テストの結果から、基礎学力の定着に課題を残した。組織的な学力向上の取り組みとして「教員の授業力向上の研究」をテーマに課題解決を図っていくことを期待する。

一方、不登校生に関しては目標を達成することができた。しかし、依然不登校生の数は少なくない状況であり、個々の課題克服へ向けて、学校全体で不登校生の減少に取り組み、魅力ある学校づくりを行っていただきたい。

全国体力・運動能力、運動習慣調査における実技の結果について、目標を達成することができなかった。体力づくりアクションプランのもと体力向上を期待する。

2 年度目標ごとの評価（最終）

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

- いじめアンケート等におけるいじめの認知件数は、21 件であり、2 件については解消しておらず、完全解消へ向けて全力を尽くしてもらいたい。
- 校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答えた割合は 95.2% で目標値を 3.2 ポイント上回り、たいへん評価できる。
- 暴力行為を複数回行った加害生徒数は 3 人であるが、いずれも軽いけんかであり、落ち着いた状態であることはたいへん評価できる。
- 新たに不登校になった生徒は 7 人であったが、不登校数減少への取り組みを重点的にしっかりと取り組んでいただきたい。
- 全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しい」の項目が廃止されたため、1 月に校内調査を実施した結果、肯定的に答える生徒の割合は 82.7% であり、目標値を 2.3 ポイント下回った。引き続き、生徒にとって魅力ある学校をめざし、取り組むことを期待する。
- 保護者アンケートにおける「学校は、安全・安心な学校づくりによく努めている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合は 94.3% で目標値を 7.3 ポイント上回り、評価できる。

- ・保護者アンケートにおける「学校は、家庭・地域に開かれた取り組みをよく行っている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合は 89. 9%で目標値を 6. 9 ポイント上回り、評価できる。

年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

- ・中学生チャレンジテストにおける「標準化得点」「府平均の 7 割に満たない生徒の割合」「府平均を 2 割以上上回る生徒の割合」のいずれも目標を達成できなかった。素晴らしい授業探究を期待している。
- ・校内調査において「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」について、肯定的に回答する生徒の割合は 82. 5%であり、目標値を 3 ポイント下回った。
- ・全国学力・学習状況調査における「普段 1 日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して「1 時間より少ない」と答える生徒の割合は 31. 2%で目標を達成した。
- ・全国学力・学習状況調査における「普段 1 日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか」の項目が廃止されたため、1 月に校内調査を実施した結果、「2 時間以上」と回答する生徒の割合は 54. 3%であり目標値を 17. 7 ポイントと大きく下回り、今後の対策に期待する。

3 今後の学校運営についての委員からの意見

- ・卒業式での欠席者が複数人いたことは残念であった。
- ・3 年間で生徒たちは、本当によく成長していた。素晴らしい。
- ・小中連携の重要性をより感じる。今後もさらに連携を深めたい。
- ・職業講話で 2 年生の生徒たちと接したが、本当に素晴らしい生徒たちだった。
- ・大桐中学校の伝統を今後も継承し、引き続き素晴らしい先生方に囲まれ、素晴らしい教育を期待している。